

全国初！ 影絵劇で伝える ふるさとこの物語



下呂 孝子ヶ池伝説

岐阜城や伊吹山、中山道の宿場などが登場する新作「孝子ヶ池伝説」の一場面

下呂温泉合掌村 影絵昔話館「しらさぎ座」を見学

平成20年7月に開館した下呂温泉合掌村の影絵昔話館「しらさぎ座」は、全国初の常設の影絵劇場です。今月は開館以来、人気を博している「しらさぎ座」の影絵劇をご紹介します。

影絵昔話館「しらさぎ座」では、下呂の魅力を高め、全国に発信しようと市内に伝わる伝説・昔話を新感覚の影絵劇に仕立て上演しています。

下呂温泉合掌村でしか見られないオリジナル作品で、しらさぎ座のステージ全面を使った三面のスクリーンを通して、「劇団かし座」（横浜市）の劇団員が生き生きと影絵劇を演じます。繊細なデザインと柔らかな色調が幻想的な世界を創り出し、子どもから大人まで楽しめる影絵劇場です。

公演は1日2回。一羽の白鷺が温泉のありかを教え

たという「しらさぎ伝説」を柱に、6月13日までは、孝行息子が母のために琵琶湖へ水をくみに旅に出る、新作「孝子ヶ池伝説」を、7月17日から11月30日まで、萩原町上呂の「お美津稲荷」に伝わる伝説「お美津ギツネ」の上演を予定しています。

これまでに、小坂に伝わる「力持ち小太郎」も上演しており、現在4作品が完成しています。

下呂温泉合掌村では、今後市内の伝説や昔話を下呂温泉の温泉だけでない魅力を発信するため、影絵劇として制作する計画です。





下 しらさぎ伝説 **萩原** お美津ギツネ **小坂** 力持ち小太郎



幕間には手影絵を使った懐かしい影絵が披露され好評。
写真上：キツネ 写真下：ウサギとキツネ（舞台裏から）



どこか懐かしく、
心が落ち着く、影絵劇

日本最初の影絵専門劇団として半世紀以上の歴史を誇る「劇団かかし座」。その劇団員の中から選抜された男女4人のメンバーが公演を行います。影絵の操作や声の演技、役者としての出演はもちろん、音や照明の操作、開演前の呼び込みや観客の案内など、公演にかかわる一切を4人で切り盛りしています。

観劇した人からは、「童心に戻り、ほのぼのとした時間を過ごした」「影絵劇の地を訪れてみたくなった」「歴史や昔話を影絵劇で見て感動した」「団員の熱演・映像の美しさが素晴らしい」「影絵のイメージを超えていた」などの感想が寄せられています。劇団かかし座の後藤圭代表は「影絵は人間が一番初めからやっている映像遊び。誰が見てもどこか懐かしく、心が落ち着きます。映像的に不完全なところ、影が映ると何だろうと無意識のうちに創造を駆り立てる。それが影絵劇の楽しさです」と話します。

影絵昔話館「しらさぎ座」

- 公演時間：10:30～ / 14:00～ ■ 休演日：毎週水曜日
- 1日2回公演、1回2作品の公演、約45分程度
- 観劇料：入場料と別に大人・小人とも1人300円
- ☎ 25-2239 ■ <http://www.city.gero.lg.jp/kankou>

